



これまでに集まったご寄付

1,899万7,606食

(2013年1月末時点)

(エチオピアコロロ村の小学校)

エチオピア ～地域全体で運営する学校給食～

TABLE FOR TWOが支援しているエチオピアの小学校では、給食プログラムの運営に両親や地域住民が積極的に参加しています。

① 地域ぐるみで給食を

毎日の給食を調理するのは、生徒たちの両親です。さらに地元の農家が、調理に欠かせない水や薪などを提供したり、ボランティアで学校菜園での野菜栽培に参加しています。



② 学校菜園の収穫量アップ!

エチオピア政府が農業専門家を派遣し、教師や高学年の生徒、親たちに農業技術を指導しています。灌漑設備を整え、年間に2～3回の収穫を目指しています。



③ 給食に地元のフルーツを



農家はマンゴーやグアバを栽培し、収入を得ています。収穫した果物や、その販売収入の一部を、給食に寄付する取り組みが始まりました。持続的な給食運営への大きな一歩です。

TABLE FOR TWO代表より



日頃よりTFTプログラムにご参加いただき、ありがとうございます。2012年12月にエチオピアのティグライ州ハウゼンの小学校を訪ねました。エチオピアはGDP年間成長率11%を誇る一方、干ばつ等の激しい気候不順や環境問題、人口増加などの問題を抱えています。それらに対して人々はどうのように立ち向かっているのでしょうか。今回訪れた小学校で行われているコミュニティの取組みにヒントがあるように感じました。

エチオピア連邦民主共和国

およそ3,000年以上の歴史を持つ、アフリカ最古の独立国。首都にはAU(African Union)をはじめ、多くの国際機関や地域機関が立ち並ぶ。

- 首都: アディスアベバ
- 民族: オモロ族、アムハラ族など約80の民族
- 言語: アムハラ語、英語

PTA会長のメッセージ



「学校給食が始まる前は、近隣の家々を訪問しては、子どもたちを学校に通わせてほしいと説得していた。今では給食のおかげで、子どもたちが自ら進んで学校に行ってくれるから、ありがたいことだよ」

